

【認知症患者の位置特定】 IBM

①要約：

このアイデアは、認知症患者や他の人々の位置特定に役立つため、スマートフォンに音源を配置し、ユーザーのマイクでその音を検知することで場所を特定するシステムを提案しています。

②目的：

このアイデアの目的は、徘徊する認知症患者や犯罪者、ハッキングされたスマートフォンの所有者などが、自分の場所を特定することにより安全を確保できるようにすることです。

③新規性：

このアイデアは、GPS を使用せずに音声信号を利用して位置を特定するという新しいアプローチを提案しています。また、公衆マイクや音源を使用することで、広範な場所でも位置特定が可能となります。

④独自性：

他の位置特定システムとは異なり、このアイデアではスマートフォンの所有者自身が特定の音を検知することで位置を確認します。これにより、個別の患者や被害者に合わせた設定や対応が可能となります。

⑤経済価値：

このアイデアは、認知症患者や犯罪被害者だけでなく、一般の人々にも利用できる可能性があります。個別の専用機器を使用する必要がないため、既存のスマートフォンとアプリのみで利用できるため、経済的な負担が軽減されます。また、様々な目的に適応できるため、多くの人々にとって経済的な価値を持つ提案となります。